

行政評価シート(事後評価)

コード (70) 6-5-7	事務事業名 母子保健教育相談事業	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	---------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単補助額)等	
	事業概要: 母親学級 両親学級 ママサロン ミニ講座 2歳児クラス 乳幼児健診後フォロー教室(びよんびよん、うさびよん) 育児相談 妊産婦電話相談 事業内容: 初妊婦対象に年間15回(1回3日コース)講話、実技、交流等 初妊婦とその夫を対象に土曜日の半日、ビデオ放映、実習、妊婦体験等 2~3か月の乳児と母親を対象に安心して集える場所を提供し、母親のリフレッシュと交流を行なう(年間24回) 育児相談に併設して、栄養編6回歯科編3回保育編2回1歳児クラス12回の子育てミニ講座を実施 年間4回(1回3日コース) 育児不安の強い2歳前半の親子を対象に講話やふれあい遊び交流等 1歳6か月児健診、3歳児健診の中で、発育発達に手助けが必要な児とその保護者を対象に集団での遊びや保護者の交流を通してよりよい親子関係を築いていけるような支援や子育て不安の解消を図る(年間32回実施) 年間36回予約なしで、身体測定や保育、栄養、歯科、母乳等の個別相談を実施し、育児の不安の解消と交流を図る(年間36回) 出生通知票返送者で訪問を希望しない産婦やフォローの必要な妊婦に助産師が電話相談する(週1回)	
事業開始時期	年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			4,023	3,967	4,225
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ( )					
	一般財源		4,023	3,967	4,225	4,720
所要人員(B)	人	1.57	1.57	1.57	1.57	
人件費(C)=平均給×(B)	千円	13075	12850	12813	12813	
臨時職員等賃金(C')	千円	6,409	7,040	6,594	7,541	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	23,507	23,857	23,632	25,074	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (健康教育相談利用者総延数)	千円	3.7	3.4	3.5	#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	両親学級開催回数	実績値 回	回	14	15	14
育児相談開催回数	実績値 回	回	36	36	36	36
母子健康教育相談総回数	実績値 回	回	144	153	145	155
[指標の説明・数値変化の理由 など] 平成16年度は半日を1回として1日に2回開催。平成17年からは半日を1回として原則毎月1回開催。 保谷・田無各会場での開催数の合計 母子健康教育・相談事業の実施延合計開催数						
一次成果	成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	両親学級利用人数	実績値 人	474	659	658	
	育児相談利用延人数	実績値 人	2,718	3,096	2,947	
	母子健康教育・相談利用延人数	実績値 人	6,433	7,080	6,809	
[指標の説明・数値変化の理由 など] 内容実施方法の見直し等から1回の受け入れ人数の増加が可能となった。保谷会場に比して田無会場での利用が増加している。それぞれの教室・相談で、1回しか参加できないもの、何回でも参加できるもの、またコースを組んでいるもの、1回のみのものである。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	教室後のアンケート実施で満足度が高い。各教室1回のみに限定しているがまた参加したい。もっとやってほしいとの意見多数。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 内容や事業は各市違いがあるが、同様の事業を実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 産科病医院 保育園・児童館・地域支援センター・公民館等 発達支援センターひいらぎ 保育園 家庭支援センター等

コード (70) 6-5-7	事務事業名 母子保健教育相談事業	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	---------------------	--

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>については、病医院で実施してはいるものの、目的が異なっており、地域でのつながり及び子育て支援の最初の窓口として、行政が果たす役割は大きいものとする。特に両親学級については、子育て支援計画や男女平等推進プラン等でも重要視されている。ただし、回数や内容等見直しを図りつつ、充実させていきたいと考えている。</p> <p>については、地域で行なわれている子育て支援事業と重なっている部分が多いので、地域の支援の実態、市民ニーズの把握等とあわせて、母子保健としての役割の明確化を図り事業の見直しを図る必要がある。ひいらぎで実施している「めだかグループ」と目的が似ており、平成20年度の(仮称)子どもの総合支援センター子育て支援ひろば運営を見越して、整理と統合を図ることになっている。妊産婦電話相談については、保健分野で実施している新生児訪問や妊婦相談・訪問を補っているもので、不安の解消に役立っていると思われる。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一次評価が指摘するとおり、ママサロン、ミニ講座、2歳児クラス、育児相談については、地域で行われている子育て支援事業と重複する点も多いため、地域支援の実態、市民ニーズの把握等を通じ、母子保健としての役割の明確化を図りつつ、事業の見直しを検討する必要がある。</p> <p>また、(仮称)子どもの総合支援センターの開設を準備する中で、子育て支援ひろば運営等、重複する事業の整理統合についても検討する必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一次評価記載のとおり、事業所管課において各事業の効果や課題を把握している。特に、ママサロン、ミニ講座、二歳児クラス、育児相談については、子育て支援事業との重複を整理し、母子保健としての役割を明確にすることで、効果的な運営に努められたい。</p>